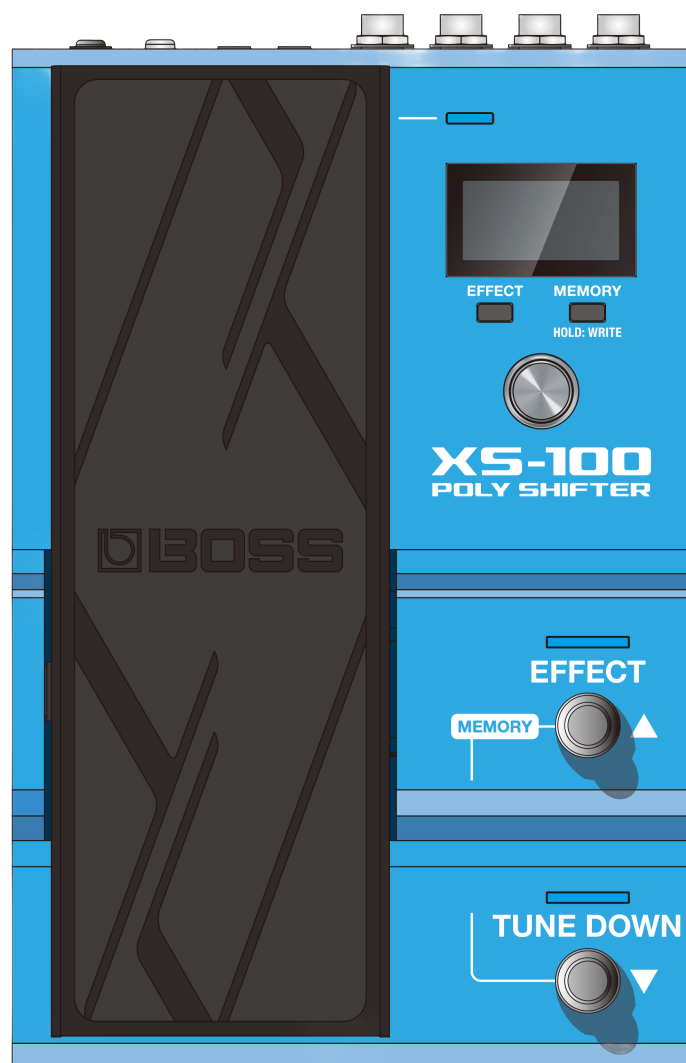




XS-100

取扱説明書

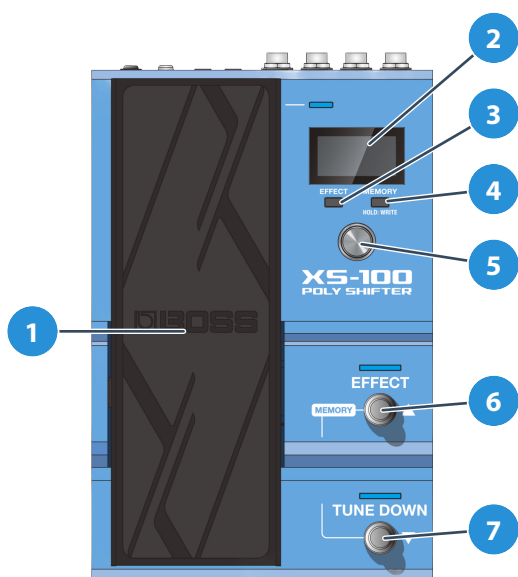
本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書）をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

目次

各部の名称とはたらき	3
トップ・パネル	3
リア・パネル	4
電源を入れる／切る	5
電源を入れるとき	5
電源を切るとき	5
一定時間がたつと自動で電源が切れるようにする (Auto Off)	5
外部ペダルを接続する	7
エフェクトのエディット	8
エフェクト・モード	8
エフェクト・エディット・モード	8
エフェクト・パラメーター	10
メモリーの保存／切り替え	11
メモリーを保存／初期化する	11
メモリー・モード	11
XS-100全体の設定をする	12
パラメーター一覧	12
CTLパラメーター	12
CTL PREFパラメーター	14
SYSTEMパラメーター	15
MIDIパラメーター	16
MIDI CCパラメーター	16
MIDI PC MAPパラメーター	17
EXP1ペダルの最小／最大ポジションを設定する（キ ャリブレーション）	18
XS-100の情報をパソコンに転送する（MIDI BULK DUMP）	19
エラー・メッセージ	20
工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）	21
ゴム足の取り付け	22
使用上のご注意	23
主な仕様	24

各部の名称とはたらき

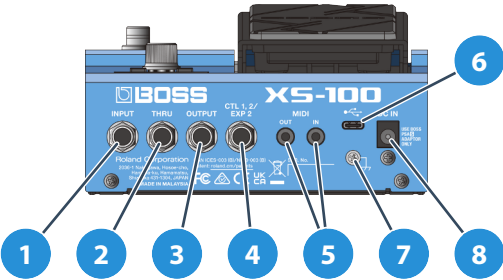
トップ・パネル



番号	名称	説明
1	EXP1ペダル	ピッチ・シフトの効き具合をコントロールします。 ペダルをつま先で強く踏み込むと、EXP1スイッチが作動します。 インジケーター：EXP1スイッチでコントロールしている機能がオンのときに点灯します。 * EXP1ペダルを操作するときは、可動部と本体の間に指をはさまないように注意してください。お子様のいる場所で使用する場合は、必ず大人のかたが監視／指導してください。
2	ディスプレイ	メモリーやエフェクト設定など表示します。
3	[EFFECT] ボタン	エフェクト・モードやエフェクト・エディット・モードに切り替えます。 ピッチ・シフターのシフト量やデチューン量などを設定します。
4	[MEMORY] ボタン	メモリー・モードやメモリー／システム設定モードに切り替えます。 メモリー（1～30）の切り替えや保存をします。 詳しくは、「 メモリーの保存／切り替え (P.11) 」をご覧ください。 [MEMORY] ボタンを長押しすると、WRITE画面に切り替わります。
5	セレクトつまみ	メモリーやパラメーター、設定値を選んだり（回す）、決定したり（押す）します。
6	[EFFECT] スイッチ	エフェクトをオン／オフします。 インジケーター：[EFFECT] スイッチがオンのときに点灯します。 * 設定画面では、このスイッチを「SW1」と表示します。 * [EFFECT] スイッチと [TUNE DOWN] スイッチを両方押すと、SW MODEが切り替わります。
7	[TUNE DOWN] スイッチ	ダウン・チューニングやカポ効果を加えます。 インジケーター：[TUNE DOWN] スイッチがオンのときに点灯します。 * 設定画面では、このスイッチを「SW2」と表示します。 * [EFFECT] スイッチと [TUNE DOWN] スイッチを両方押すと、SW MODEが切り替わります。

リア・パネル

* 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。



番号	名称	説明
1	INPUT端子	ギター、ベースを接続します。
2	THRU端子	INPUT端子の入力をそのまま出力します。
3	OUTPUT端子	エフェクター、アンプに接続します。
4	CTL 1, 2/EXP 2端子	CTL 1/2端子として使う フットスイッチ（別売：FS-5U、FS-6、FS-7）を接続して、さまざまな機能を使うことができます。詳しくは、「 CTLパラメーター (P.12) 」をご覧ください。 EXP端子として使う エクスプレッション・ペダル（別売：EV-30、Roland EV-5など）を接続して、エフェクト音の音量などをコントロールすることができます。詳しくは、「 CTLパラメーター (P.12) 」をご覧ください。 * エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。 * エクスプレッション・ペダルを操作するときは、可動部と本体の間に指をはさまないように注意してください。お子様のいる場所で使用する場合は、必ず大人のかたが監視／指導してください。
5	MIDI (OUT、IN) 端子	TRS／MIDIコネクティング・ケーブル（別売：BMIDI-5-35など）で外部MIDI機器に接続します。 外部MIDI機器を使って本機のメモリーを切り替えることができます。 オーディオ機器を接続しないでください。故障の原因になります。
6	USB端子	プログラム・アップデート専用です。 * USB2.0に対応した市販のUSBケーブル（USB Type-C®）でパソコンに接続します。 * 充電専用のUSBケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。
7	接地端子	外部アースまたは大地に接地します。必要に応じて接続してください。
8	DC IN端子	付属のACアダプターを接続する端子です。 DC IN端子にプラグを差し込むと電源がオンになります。プラグを抜くとオフになります。

電源を入れる／切る

- * 正しく接続したら、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。
- * 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。
- * 本機は、演奏や操作をやめてから一定時間が経過すると、省エネルギーのため自動的に電源が切れるように設定することができます。
 - 自動的に電源が切れると、保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。
 - 自動的に電源が切れないようにするには、設定をオフにしてください。ただし設定をオフにすると、消費電力量の増加につながります。
 - 自動的に切れた電源を再び入れるときは、本機の電源を入れ直してください。

電源を入れるとき

① DC IN端子に付属のACアダプターを接続します。

本機の電源が入ります。

② ギター・アンプなどの電源を入れます。

電源を切るとき

電源を切る前に、次のことを確認します。

- 接続している機器の音量は最小になっていますか？
- 設定を変更したメモリーは保存しましたか？

① ギター・アンプなどの電源を切ります。

② DC IN端子からACアダプターを抜きます。

本機の電源が切れます。

注意

電源が切れると編集集中の設定は失われます。残しておきたい設定はあらかじめ保存しておいてください。

→ [メモリーを保存／初期化する](#) (P.11)

一定時間がたつと自動で電源が切れるようにする (Auto Off)

この製品は演奏や操作をやめてから一定時間が経過すると、自動的に電源が切れるように設定することができます。

自動で電源を切る必要がない場合は、この機能を「オフ」に設定します。

① [MEMORY] ボタンを押します。

メモリー・メニュー画面が表示されます。

② セレクトつまみを回して「SYSTEM」を選び、セレクトつまみを押します。

SYSTEMパラメーター画面が表示されます。

③ セレクトつまみを回して「AUTO OFF」を選び、セレクトつまみを押します。

AUTO OFFパラメーターが選ばれます。

電源を入れる／切る

4 セレクトつまみを回して「OFF」を選びます。

以下の画面が表示されます。

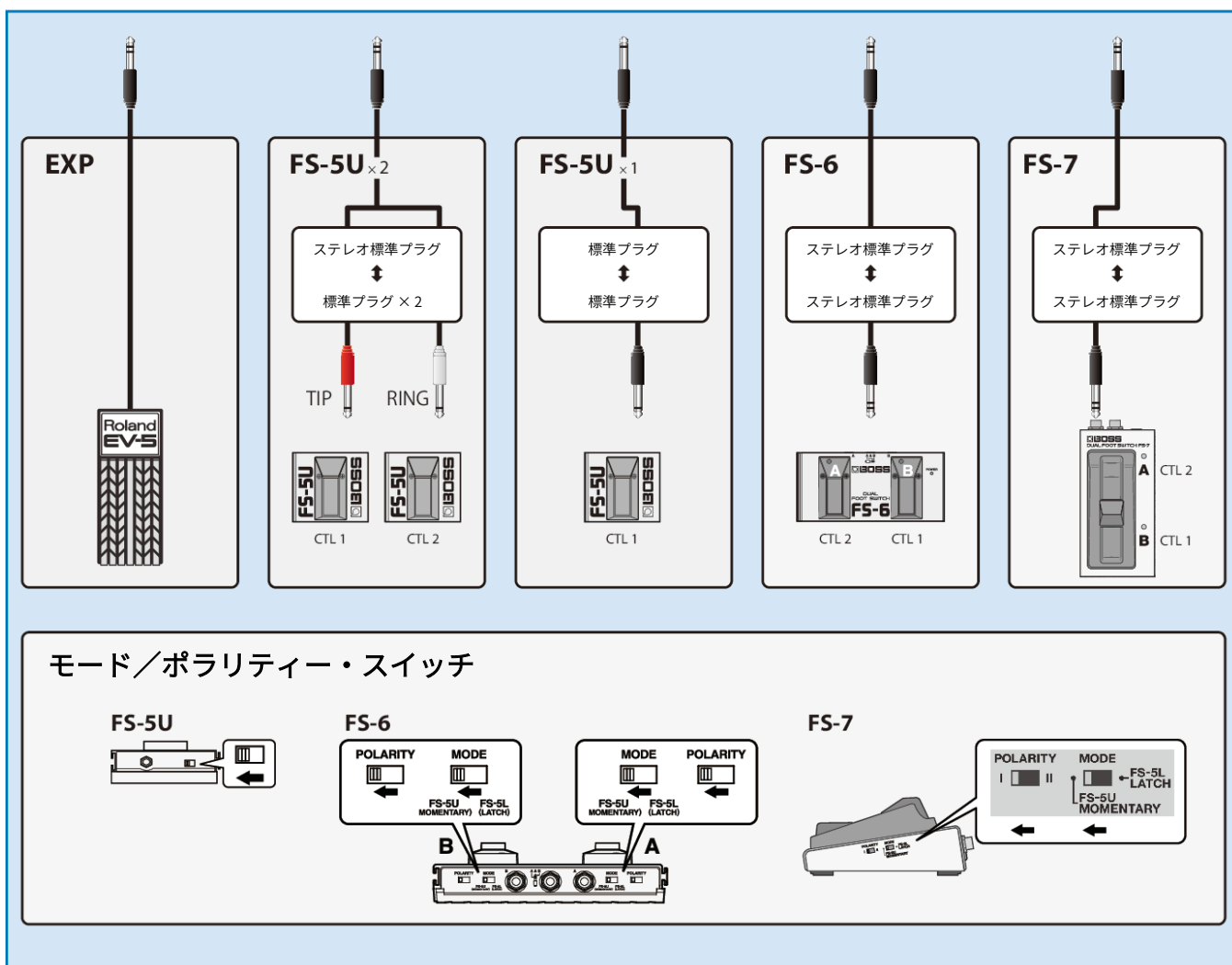


5 【MEMORY】（EXEC）ボタンを押します。

中止するときは、【EFFECT】（EXIT）ボタンを押します。

外部ペダルを接続する

本機に接続したフットスイッチやエクスプレッション・ペダルに機能を割り当てて使うことができます。



エフェクトのエディット

エフェクト・モード

ピッチ・シフトをオンにしてペダルを踏み込んだときのピッチ・シフト量 (P.SHIFT) と、ダウン・チューニングがオンのときのピッチ・シフト量 (TUNE.DN) を設定します。

- ピッチ・シフト：最大±4オクターブのピッチ・シフト音を出力します。
- ダウン・チューニング：最大±4オクターブのピッチ・シフト音を出力します。

1 [EFFECT] ボタンを押して、以下の画面 (エフェクト・モード) を表示します。

違う画面が表示されている場合は、もう一度 [EFFECT] ボタンを押します。

オクターブ・シフト量



ピッチ・シフト量 (半音単位)

2 設定を変更します。

セレクトつまみを回す：半音単位でピッチ・シフト量を設定します。

セレクトつまみを押しながら回す：オクターブ・シフト量を設定します。

セレクトつまみを押す：P.SHIFT側とTUNE.DN側の選択を切り替えます。

* ピッチ・シフト量が動作範囲を超えた場合は、ピッチ・シフト量表示が点滅します。

エフェクト・エディット・モード

ピッチ・シフトやデチューンなどをエディットします。

1 エフェクト・モードで [EFFECT] ボタンを押します。

[EFFECT] ボタンを押すたびに、エフェクト・モードとエフェクト・エディット・モードが切り替わります。



2 パラメーターを選びます。

セレクトつまみを回す：パラメーターを選びます。

セレクトつまみを押す：設定値が変更できるようになります。

3 設定値を変更します。

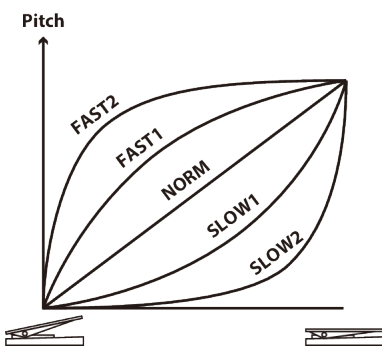


セレクトつまみを回す：設定値を変更します。

セレクトつまみを押す：パラメーターの選択に戻ります。

4 手順2～3を繰り返します。

エフェクト・パラメーター

パラメーター	設定値	説明
P.SHIFT (PITCH SHIFT SW)	OFF、ON	ピッチ・シフトをオン／オフします。
- SHIFT (PITCH SHIFT)	-4:0~0:0~+4:0	ピッチ・シフトがオンのときの変化量を設定します。 (オクターブ) : (半音)
DETUNE (DETUNE SW)	OFF、ON	デチューンをオン／オフします。
- SHIFT (DETUNE SHIFT)	-50~0~+50	デチューンがオンのときの変化量をセント単位で設定します。
TUNE.DN (TUNE DOWN SW)	OFF、ON	ダウン・チューニング (チューン・ダウン) をオン／オフします。
- SHIFT (TUNE DOWN SHIFT)	-4:0~0:0~+4:0	ダウン・チューニング (チューン・ダウン) がオンのときの変化量を設定します。 (オクターブ) : (半音)
- GROUP (TUNE DOWN GROUP)	ダウン・チューニング (チューン・ダウン) の動作を設定します。	
	INDIV	チューン・ダウンは独立したエフェクトとして機能します。 エフェクトがOFFのときも効果がかかります。
	EFX	チューン・ダウンはエフェクト (ピッチ・シフト) と一緒に機能します。 エフェクトがOFFのときは、効果がかかりません。
P.RANGE (PEDAL RANGE)	ダウン・チューニング (チューン・ダウン) がオンのときのペダル動作範囲を設定します。	
	ABS	P.SHIFTパラメーターで設定したシフト量まで変化します。
	REL	P.SHIFTパラメーターで設定したシフト量からTUNE.DNで変化した量をオフセットします。
P.CURVE (PEDAL CURVE)	SLOW2、SLOW1、NORM、FAST1、FAST2	ペダルを踏み込む量に対するピッチ変化量を設定します。 
P.RISE (PEDAL RISE RESPONSE)	1~10	ペダルを踏み込んだときのピッチ変化の速さを設定します。
P.FALL (PEDAL FALL RESPONSE)	1~10	ペダルを踏み戻したときのピッチ変化の速さを設定します。
E.LEVEL (EFFECT LEVEL)	0~120	エフェクト音の音量を調節します。
D.LEVEL (DIRECT LEVEL)	0~100	ダイレクト音の音量を調節します。
BALANCE	100:0~100:100~0:100	ダイレクト音とエフェクト音の音量バランスを設定します。 (ダイレクト音) : (エフェクト音)
UNI.THURU (UNISON THRU)	OFF、ON	ピッチ・シフト量が0のときに、エフェクト音の代わりにダイレクト音をスルーします。
EFFECT (EFFECT SW)	OFF、ON	エフェクトのオン／オフを設定します。

メモリーの保存／切り替え

メモリーを保存／初期化する

エディットしたエフェクトをメモリーに保存（WRITE）したり初期化（INIT）したりします。

メモ

メモリーに保存するときはWRITEを、メモリーを初期化する場合INITを選びます。

1 【MEMORY】 ボタンを長押しします。

WRITE画面が表示されます。



2 メモリー・ナンバーを選びます。

セレクトつまみを回す：メモリー・ナンバーを選びます（押しながら回すと、10の位が変わります）。

セレクトつまみを押す：WRITE／INITを切り替えます。



3 【MEMORY】（EXEC） ボタンを押します。

中止するときは、【EFFECT】（EXIT） ボタンを押します。

メモリー・モード

メモリーを切り替えます。

1 【MEMORY】 ボタンを押します。



セレクトつまみを回す：メモリーが1つつ変わります。

セレクトつまみを押しながら回す：メモリーが10個単位で変わります。

XS-100全体の設定をする

1 [MEMORY] ボタンを押します。

メモリー・メニュー画面が表示されます。



2 セレクトつまみを回して項目を選び、セレクトつまみを押します。

選んだ項目のエディット画面が表示されます。

3 パラメーターを選びます。

セレクトつまみを回す：パラメーターを選びます。

セレクトつまみを押す：設定値の変更に切り替えます。

4 設定値を変更します。

セレクトつまみを回す：設定値を変更します。

セレクトつまみを押す：パラメーターの選択に戻ります。

5 手順3～4を繰り返します。

パラメーター一覧

CTLパラメーター

パラメーター	設定値	説明（ペダルのインジケーターの色）
SW1A (SW1A FUNC) SW2A (SW2A FUNC) SW1B (SW1B FUNC) SW2B (SW2B FUNC)	フットスイッチの機能を設定します。 メモ - SW1とSW2には「A」と「B」があり、AとBそれぞれに機能を割り当てることができます。AとBのどちらの機能で使うかは、SW MODE (P.15) で設定します。 - SW1+2の設定により、フットスイッチの操作でAとBの切り替えができるようになります。	
	OFF	機能を割り当てません（消灯）。
	EFX	エフェクトをオン／オフします（赤）。
	EFX:M	スイッチを押している間、エフェクトをオンにします（赤）。
	P.SHIFT	ピッチ・シフトをオン／オフします（緑）。
	P.SHIFT:M	スイッチを押している間、ピッチ・シフトをオンにします（緑）。
	P+1OCT	ピッチを1オクターブ高くします（緑）。
	P+1OCT:M	スイッチを押している間、ピッチを1オクターブ高くします（緑）。
	P-1OCT	ピッチを1オクターブ低くします（緑）。
	P-1OCT:M	スイッチを押している間、ピッチを1オクターブ低くします（緑）。
	T.DN	ダウン・チューニング（チューン・ダウン）をオン／オフします（緑）。
	T.DN:M	スイッチを押している間、ダウン・チューニング（チューン・ダウン）をオンにします（緑）。
	DTNE	デチューンをオン／オフします（緑）。

パラメーター	設定値	説明 (ペダルのインジケーターの色)
	DTNE:M	スイッチを押している間、デチューンをオンにします (緑)。
	DIR	ダイレクト音をオン/オフします (赤)。
	DIR:M	スイッチを押している間、ダイレクト音をオンにします (赤)。
	M.UP	次のメモリーに切り替えます (メモリー・アップ) (青)。
	M.UP(D	スイッチを押すと次のメモリーに切り替えます (メモリー・アップ)。 スイッチを長押しすると前のメモリーに切り替えます (メモリー・ダウン) (青)。
	M.DN	前のメモリーに切り替えます (メモリー・ダウン) (青)。
	M.DN(U	スイッチを押すと前のメモリーに切り替えます (メモリー・ダウン)。 スイッチを長押しすると次のメモリーに切り替えます (メモリー・アップ) (青)。
	M.#1~M.#30	設定したメモリー・ナンバーに切り替えます (青)。
SW1+2 (SW1+2 FUNC)	OFF	機能を割り当てません。
	MODE1	SW MODEを切り替えます。 SW MODEの切り替えに合わせて、画面 (EFFECT/MEMORY) が切り替わります。
	MODE2	SW MODEを切り替えます。 MODE2のときは、画面が変わりません。
EXP1 (EXP1 FUNC) EXP2 (EXP2 FUNC)	エクスプレッション・ペダルの機能を設定します。 ペダルを踏み込んだときに、各機能のパラメーター設定値まで変化します。	
	OFF	機能を割り当てません。
	P.SHIFT	ピッチ・シフト量をコントロールします。
	DTNE	デチューン量をコントロールします。
	E.LVL	エフェクト・レベルをコントロールします。
	D.LVL	ダイレクト・レベルをコントロールします。
	BAL	バランスをコントロールします。
- SW (EXP1 SW FUNC)	EXP1スイッチの機能を設定します。	
	OFF	機能を割り当てません (消灯)。
	EFX	エフェクトをオン/オフします (赤)。
	EFX:M	スイッチを押している間、エフェクトをオンにします (赤)。
	P.SHIFT	ピッチ・シフトをオン/オフします (緑)。
	P.SHIFT:M	スイッチを押している間、ピッチ・シフトをオンにします (緑)。
	P+1OCT	ピッチを1オクターブ高くします (緑)。
	P+1OCT:M	スイッチを押している間、ピッチを1オクターブ高くします (緑)。
	P-1OCT	ピッチを1オクターブ低くします (緑)。
	P-1OCT:M	スイッチを押している間、ピッチを1オクターブ低くします (緑)。
	T.DN	ダウン・チューニング (チューン・ダウン) をオン/オフします (緑)。
	T.DN:M	スイッチを押している間、ダウン・チューニング (チューン・ダウン) をオンにします (緑)。

XS-100全体の設定をする

パラメーター	設定値	説明（ペダルのインジケーターの色）
	DTNE	デチューンをオン／オフします（緑）。
	DTNE:M	スイッチを押している間、デチューンをオンにします（緑）。
	DIR	ダイレクト音をオン／オフします（赤）。
	DIR:M	スイッチを押している間、ダイレクト音をオンにします（赤）。
CTL1	接続した外部フットスイッチの機能を設定します。	
CTL2	OFF	機能を割り当てません（消灯）。
	EFX	エフェクトをオン／オフします（赤）。
	EFX:M	スイッチを押している間、エフェクトをオンにします（赤）。
	PITCH	ピッチ・シフトをオン／オフします（緑）。
	PITCH:M	スイッチを押している間、ピッチ・シフトをオンにします（緑）。
	P+1OCT	ピッチを1オクターブ高くします（緑）。
	P+1OCT:M	スイッチを押している間、ピッチを1オクターブ高くします（緑）。
	P-1OCT	ピッチを1オクターブ低くします（緑）。
	P-1OCT:M	スイッチを押している間、ピッチを1オクターブ低くします（緑）。
	T.DN	ダウン・チューニング（チューン・ダウン）をオン／オフします（緑）。
	T.DN:M	スイッチを押している間、ダウン・チューニング（チューン・ダウン）をオンにします（緑）。
	DTNE	デチューンをオン／オフします（緑）。
	DTNE:M	スイッチを押している間、デチューンをオンにします（緑）。
	DIR	ダイレクト音をオン／オフします（赤）。
	DIR:M	スイッチを押している間、ダイレクト音をオンにします（赤）。
	SW MODE	SW MODEを切り替えます。
	M.UP	次のメモリーに切り替えます（メモリー・アップ）（青）。
	M.UP(D	スイッチを押すと次のメモリーに切り替えます（メモリー・アップ）。 スイッチを長押しすると前のメモリーに切り替えます（メモリー・ダウン）（青）。
	M.DN	前のメモリーに切り替えます（メモリー・ダウン）（青）。
	M.DN(U	スイッチを押すと前のメモリーに切り替えます（メモリー・ダウン）。 スイッチを長押しすると次のメモリーに切り替えます（メモリー・アップ）（青）。
	M.#1～30	設定したメモリー・ナンバーに切り替えます（青）。

CTL PREFパラメーター

パラメーター	設定値	説明
SW1A (SW1A PREF)	MEM、SYS	SW1Aでコントロールする機能が、メモリーの設定に従うか（MEM）、システムの設定に従うか（SYS）を選びます。
SW2A (SW2A PREF)	MEM、SYS	SW2Aでコントロールする機能が、メモリーの設定に従うか（MEM）、システムの設定に従うか（SYS）を選びます。

パラメーター	設定値	説明
SW1B (SW1B PREF)	MEM、SYS	SW1Bでコントロールする機能が、メモリーの設定に従うか (MEM) 、システムの設定に従うか (SYS) を選びます。
SW2B (SW2B PREF)	MEM、SYS	SW2Bでコントロールする機能が、メモリーの設定に従うか (MEM) 、システムの設定に従うか (SYS) を選びます。
EXP1 (EXP1 PREF)	MEM、SYS	EXP1でコントロールする機能が、メモリーの設定に従うか (MEM) 、システムの設定に従うか (SYS) を選びます。
EXP1 SW (EXP1 SW PREF)	MEM、SYS	EXP1 SWでコントロールする機能が、メモリーの設定に従うか (MEM) 、システムの設定に従うか (SYS) を選びます。
CTL1 (CTL1 PREF)	MEM、SYS	CTL1でコントロールする機能が、メモリーの設定に従うか (MEM) 、システムの設定に従うか (SYS) を選びます。
CTL2 (CTL2 PREF)	MEM、SYS	CTL2でコントロールする機能が、メモリーの設定に従うか (MEM) 、システムの設定に従うか (SYS) を選びます。
EXP2 (EXP2 PREF)	MEM、SYS	EXP2でコントロールする機能が、メモリーの設定に従うか (MEM) 、システムの設定に従うか (SYS) を選びます。

SYSTEM/パラメーター

パラメーター	設定値	説明
EXT MIN (MEMORY EXTENT MIN)	1～30	選択可能なメモリーの下限值を設定します。
EXT MAX (MEMORY EXTENT MAX)	1～30	選択可能なメモリーの上限値を設定します。
BYPASS	バイパス音の出力を設定します。	
	ANA	バイパス時にアナログ・スルー音を出力します。
	DSP	バイパス時にDSPスルー音を出力します。
EXP1 HOLD EXP2 HOLD	OFF	メモリーを切り替えたとき、EXP1 (EXP1 FUNC) /EXP2 (EXP2 FUNC) の操作状態は反映されません。 → 「CTLパラメーター (P.12)」
	ON	メモリーを切り替えたとき、EXP1 (EXP1 FUNC) /EXP2 (EXP2 FUNC) が切り替え前のメモリーと同じ場合はその操作状態が反映されます。 → 「CTLパラメーター (P.12)」
EXP1 SW THRE (EXP1 SW THRESHOLD)	1～10	EXP1 SWがON/OFFする感度を設定します。
SW MODE	A、B	SW1、2の機能を、AとBどちらの設定で使うかを決めます。 切り替える機能は、CTLパラメーターで設定します。
CONTRAST (DISPLAY CONTRAST)	1～10	画面のコントラストを調節します。
AUTO OFF	AUTO OFFの設定をします。	
	OFF	自動で電源は切れません。
	ON	演奏や操作をやめてから約20分経過すると、自動的に電源が切れます。

XS-100全体の設定をする

MIDIパラメーター

パラメーター	設定値	説明
TX CH	MIDI送信チャンネルを設定します。	
	1～16	設定したチャンネル（Ch.1～Ch.16）で、MIDIメッセージを送信します。
	RX	受信チャンネルと同じチャンネルでMIDIメッセージを送信します。
	OFF	MIDIメッセージを送信しません。
RX CH	MIDI受信チャンネルを設定します。	
	1～16	設定したチャンネル（Ch.1～Ch.16）で、MIDIメッセージを受信します。
	OFF	MIDIメッセージを受信しません。
PC IN	プログラム・チェンジを受信するか、受信しないかを設定します。	
	OFF	受信しません。
	ON	受信します。
PC OUT	プログラム・チェンジを送信するか、送信しないかを設定します。	
	OFF	送信しません。
	ON	送信します。
BANK SEL (BANK SELECT TX)	バンク・セレクトを送信するか、送信しないかを設定します。	
	M+L	MSBとLSBを送信します。
	MSB	MSBのみを送信します。
	OFF	送信しません。
CC IN	コントロール・チェンジを受信するか、受信しないかを設定します。	
	OFF	受信しません。
	ON	受信します。
CC OUT	コントロール・チェンジを送信するか、送信しないかを設定します。	
	OFF	送信しません。
	ON	送信します。
THRU	外部から入ってきたMIDI信号をそのままMIDI OUT端子から送信するか、送信しないかを設定します。	
	OFF	送信しません。
	ON	送信します。

MIDI CCパラメーター

パラメーター	設定値	説明
SW1A (SW1A CC)	OFF、1～31、64～95	SW1Aを操作して外部に送信する、または外部から受信してSW1Aを操作するコントロール・チェンジ・メッセージを設定します。
SW2A (SW2A CC)	OFF、1～31、64～95	SW2Aを操作して外部に送信する、または外部から受信してSW2Aを操作するコントロール・チェンジ・メッセージを設定します。
SW1B (SW1B CC)	OFF、1～31、64～95	SW1Bを操作して外部に送信する、または外部から受信してSW1Bを操作するコントロール・チェンジ・メッセージを設定します。

パラメーター	設定値	説明
SW2B (SW2B CC)	OFF、1～31、64～95	SW2Bを操作して外部に送信する、または外部から受信してSW2Bを操作するコントロール・チェンジ・メッセージを設定します。
EXP1 (EXP1 CC)	OFF、1～31、64～95	EXP1を操作して外部に送信する、または外部から受信してEXP1を操作するコントロール・チェンジ・メッセージを設定します。
EXP1 SW (EXP1 SW CC)	OFF、1～31、64～95	EXP1 SWを操作して外部に送信する、または外部から受信してEXP1 SWを操作するコントロール・チェンジ・メッセージを設定します。
CTL1 (CTL1 SW CC)	OFF、1～31、64～95	CTL1を操作して外部に送信する、または外部から受信してCTL1を操作するコントロール・チェンジ・メッセージを設定します。
CTL2 (CTL2 SW CC)	OFF、1～31、64～95	CTL2を操作して外部に送信する、または外部から受信してCTL2を操作するコントロール・チェンジ・メッセージを設定します。
EXP2 (EXP2 CC)	OFF、1～31、64～95	EXP2を操作して外部に送信する、または外部から受信してEXP2を操作するコントロール・チェンジ・メッセージを設定します。
EFX (EFFECT CC)	OFF、1～31、64～95	EFFECT ON/OFFが切り替わったときに送信する、または外部から受信してEFFECT ON/OFFを切り替えるコントロール・チェンジ・メッセージを設定します。
PITCH (PITCH CC)	OFF、1～31、64～95	PITCH SHIFTのON/OFFが切り替わったときに送信する、または外部から受信してPITCH SHIFTのON/OFFを切り替えるコントロール・チェンジ・メッセージを設定します。
TUNE.DN (TUNE DOWN CC)	OFF、1～31、64～95	TUNE DOWNのON/OFFが切り替わったときに送信する、または外部から受信してTUNE DOWNのON/OFFを切り替えるコントロール・チェンジ・メッセージを設定します。
DETUNE (DETUNE CC)	OFF、1～31、64～95	DETUNEのON/OFFが切り替わったときに送信する、または外部から受信してDETUNEのON/OFFを切り替えるコントロール・チェンジ・メッセージを設定します。

MIDI PC MAPパラメーター

パラメーター	設定値	説明
#1～#128 (プログラム・ナンバー)	OFF	プログラム・チェンジを受信しても無視します。
	M.#1～M.#30	プログラム・チェンジを受信したときに呼び出すメモリー (1～30) を設定します。

EXP1ペダルの最小／最大ポジションを設定する（キャリブレーション）

EXP1ペダルを操作するときの、最小ポジションと最大ポジションを順に設定します。

1 [MEMORY] ボタンを押します。

メモリー・メニュー画面が表示されます。



2 セレクトつまみを回して「EXP CALIB」を選び、セレクトつまみを押します。

EXPペダル・キャリブレーション画面が表示されます。

3 EXP1ペダルをかかと位置にして、セレクトつまみを押します。



4 EXP1ペダルをつま先位置にして、セレクトつまみを押します。



5 セレクトつまみを回してEXP1スイッチを切り替える感度を設定し、セレクトつまみを押します。



XS-100の情報をパソコンに転送する (MIDI BULK DUMP)

システムやメモリーの設定をパソコンに転送します。この操作をバルク・ダンプと呼びます。

バックアップ・データとして、システムやメモリーの設定をパソコンに保存しておくときに使います。

- 1 **TRS/MIDIコネクティング・ケーブル（別売：BMIDI-5-35など）とMIDIインターフェースなどを使って、パソコンとXS-100を接続します。**

- 2 **DAWなどのMIDI録音ができるソフトウェアで、XS-100のMIDI出力が録音できるMIDIトラックを用意します。**

バルク・ダンプをするときは、XS-100のMIDI端子に接続してください。USB MIDI接続には対応していません。

- 3 **【MEMORY】 ボタンを押します。**

メモリー・メニュー画面が表示されます。

- 4 **セレクトつまみを回して【MIDI BULK DUMP】を選び、セレクトつまみを押します。**

MIDI BULKDUMP画面が表示されます。



- 5 **FROM、TO欄でバルク・ダンプする範囲を設定します。**

- 6 **DAWの録音を開始し、XS-100の【MEMORY】（EXEC）ボタンを押します。**

中止するときは、【EFFECT】（EXIT）ボタンを押します。

バルク・ダンプが終了すると、メモリー画面が表示されます。DAWの録音を停止してください。

エラー・メッセージ

表示	説明
"OFF" CONSUMES MORE POWER.	AUTO OFF機能を無効にするときに、消費電力量が増加することをお知らせします。
AUTO POWER OFF IN * MINUTES.	AUTO OFF機能で自動電源オフが近くなるとお知らせします。
AUTO POWER OFF IN * SECONDS.	AUTO OFF機能で自動電源オフが近くなるとお知らせします。
MIDI FULL	MIDIのデータ量が多く処理できない場合にお知らせします。
MEMORY DAMAGED	保存してあるパラメーターが破損した場合にお知らせします。FACTORY RESETしてください（「工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）（P.21）」）。
SYSTEM ERROR	正常動作できない場合にお知らせします。当社サポート窓口へ問い合わせください。

工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）

XS-100を工場出荷時の状態に戻します。

注意

ファクトリー・リセットをすると、メモリーに保存されている内容はすべて失われます。

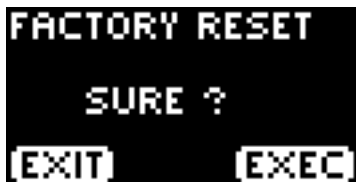
1 【MEMORY】 ボタンを押します。

メモリー・メニュー画面が表示されます。



2 セレクトつまみを回して「FACTORY RESET」を選び、セレクトつまみを押します。

ファクトリー・リセット画面が表示されます。



キャンセルする場合は、[EFFECT]（EXIT）ボタンを押します。

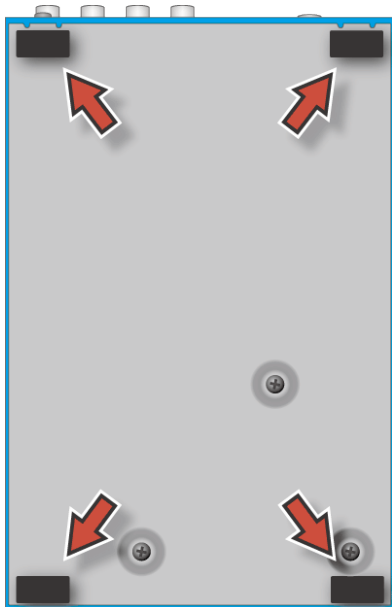
3 【MEMORY】（EXEC）ボタンを押します。

ファクトリー・リセットが実行されます。

ゴム足の取り付け

ゴム足（付属）は、必要に応じて取り付けてください。

ゴム足は図の位置に貼り付けます。



- * 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。
- * ゴム足を取り付けないまま本機を使用すると、床を傷つける恐れがあります。

使用上のご注意

設置について

- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

修理について

- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をメモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店または当社サポート窓口にご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はメモしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

主な仕様

AD変換	24ビット+AF方式 * AF方式（Adaptive Focus method）はADコンバーターのSN比を飛躍的に向上させるローランド/ボス独自の方式です。
DA変換	32ビット
サンプル・レート	48kHz
メモリー	30
規定入力レベル	INPUT：-10dBu
最大入力レベル	INPUT：+7dBu
入力インピーダンス	INPUT：2.2MΩ
規定出力レベル	OUTPUT：-10dBu
最大出力レベル	OUTPUT：+7dBu
出力インピーダンス	OUTPUT：1kΩ
推奨負荷インピーダンス	OUTPUT：10kΩ以上
バイパス	バッファード
コントロール	[EFFECT] スイッチ [TUNE DOWN] スイッチ セレクトつまみ [EFFECT] ボタン [MEMORY] ボタン EXP1ペダル
ディスプレイ	グラフィックLCD（64×32ドット、バックライト付き）
接続端子	INPUT端子：標準タイプ THRU端子：標準タイプ OUTPUT端子：標準タイプ CTL1, 2/EXP2端子：TRS標準タイプ USB 端子：USB Type-C® MIDI（IN、OUT）端子：ステレオ・ミニ・タイプ DC IN端子
電源	ACアダプター
消費電流	160mA
オフ・モード（自動的に電源が切れたとき）の消費電力	0.1W
外形寸法	147（幅）×230（奥行）×72（高さ）mm ペダル傾き最大時：147（幅）×230（奥行）×96（高さ）mm
質量	1.7kg
付属品	ACアダプター チラシ（安全上のご注意、使用上のご注意、お問い合わせの窓口） ゴム足×4 保証書
別売品	フットスイッチ：FS-5U デュアル・フットスイッチ：FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル：EV-30、FV-500L、FV-500H、Roland EV-5 TRS/MIDIコネクティング・ケーブル：BMIDI-5-35、BMIDI-1-35、BMIDI-2-35、BCC-1-3535、BCC-2-3535

* 0dBu=0.775Vrms

* 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

XS-100

取扱説明書

01

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市浜名区細江町中川2036-1

©2025 Roland Corporation